

謹賀新年

旧年中、皆様には過分なるお引き立てを頂戴し、心より深く御礼申し上げます。

昨年は創業 30 周年という銭形グループにとっては記念の年でありましたが、これまでの社業の軌跡を顧みつつ、これから約 10 年に向けて再び気持ちを奮い立たせるための大切な 1 年でもございました。

本年、当グループが掲げる企業テーマは、『進化 [Evolution]』です。この進化という言葉には、「これまで長年にわたり培ってきた会社のレガシーをしっかりと足元に踏みしめながら、新たな挑戦を加速させ、それらを着実に未来へと繋がる力に変えてゆく。この先 10 年続くビジネスの土台と仕組みをしっかりと創り上げる。」という明確で強い決意を込めております。

今年が進化のための第一歩を踏み出す 1 年となり得るよう、当グループでは様々な挑戦を展開して参ります。それぞれの事業の更なる成長と拡大への取り組みはもちろんのこと、DX や健康経営など新しい経営手法の活用と推進、ワーク・ライフ・バランスやディーセント・ワークといった現代の就業意識に適うマネジメント体制の強化と職場環境づくりなど、挑戦すべき課題は難解ではございますが、それらは当グループがこの先の厳しい時代を生き抜き、10 年後もお客様から信頼され、必要とされる存在であり続けるための重要な次の一手であると考えます。

皆様には、本年も変わらぬご厚誼とお力添えを賜りますよう何とぞ宜しくお願ひ申し上げます。新たな年が皆様にとりまして幸多き 1 年となりますことをお祈り申し上げます。

銭形グループ 代表 上野 真司



株式会社銭形企画 創業 30 周年記念祝賀会

昨年 10 月 12 日（日）、ウェスティン都ホテル京都・葵殿にて、『株式会社銭形企画創業 30 周年記念祝賀会』を執り行いました。日頃お世話になっている関係者の皆様や、かつて銭形グループにおいて介護福祉の第一線で活躍された OB・OG にも多数お集まりいただき、当グループの創業 30 周年を盛大にお祝いすることができました。私たち銭形グループは、これまでのたくさん

の方々との出会いとご縁に深く感謝し、次の 10 年に向かって気持ちを新たに、この京都において No.1 の在宅介護サービス事業者となることを目指して弛まぬ努力を続けて参ります!!



京都鉄道博物館に行ってきました～放課後等ディサービスこまち～

12月はお楽しみイベントとして『京都鉄道博物館』に行ってきました。鉄道博物館には、SLや新幹線など往年の車両がたくさん展示されていて、お気に入りの車種をバックにポーズを決めて写真撮影が楽しめます。また、実物や鉄道模型などの展示が観られるだけでなく、鉄道ジオラマによる運転体験などもできて、子どもたちは電車の運転士さんになった気分を味わいました！

こまちには鉄道博士の子どもたちがいます♡ 職員が「みんなでSLスチーム号に乗車してみる？」と話していると、何度も来ている子が発車時刻をちゃんと教えてくれました！ モクモクと煙突から上がる煤煙の香りや蒸気のシューッという大きな音は蒸気機関車ならではの感覚で、梅小路公園の秋の景色を眺めながら、みんなでプチ旅行気分を楽しむことができました。

この秋は期間限定で、実機の『機関車トーマス』が展示されていて、目がギョロギョロと動く姿に怖がる子もいましたが、迫力満点のトーマスに子ども達は大喜びの様子でした。



こまちでは、今年もクリスマスに向けて、ひと月前から子ども達と一緒に少しづつ準備を進めてきました。今回は、クリスマスBOXと壁画のクリスマツリーを作りました。

牛乳パックと画用紙でつくるクリスマスBOXは、サンタさん、



トナカイ、雪だるまの台紙に絵の具や色鉛筆で丁寧に色を着けていきます。指に絵の具をつけて色塗りに挑戦する子もいて、冷たい絵の具の感触や画用紙のザラザラした手触りが面白くて、「もう1回やる！」と自分から職員の傍に来てくれました。完成したBOXの中には、ラムネやクッキーなどお菓子を入れて、クリスマスウィークに持って帰ってもらいました。

壁面の大きなツリーには、輪つなぎサンタ、フェルトの手袋や星形などを飾りつけました。見本の写真を見ながら材料をハサミで切ったり、のりなどで貼り合わせたりして、子ども達個々に合わせて作業内容を変えながら、指先をたくさん使う活動に取り組みました。見本をじっくり眺めながらひとりで取り組む子もいれば、難しい工程を職員やお友達と一緒に協力して取り組む子もいて、それぞれのペースで楽しく制作に参加してくれました。今年もみんなで力を合わせて賑やかなクリスマツリーを完成させました。一生懸命つくった作品は、子ども達にとっても職員にとっても宝物です。数年前につくった作品をイベントの際に持ってきてくれる子もいて、職員もとても嬉しくなります。これからも子ども達に素敵な経験と思い出を残せる創作を企画していきたいと思います。

(執筆：山岡 優)



この冬も心躍るお出かけをします～デイサービス錢形～

11月、デイサービス錢形では、大津市にできた『LAGO 大津』へお出かけしました。まずはイオンモール草津に寄り道し、広々としたフードコートでのランチタイムです。今回の主たる目的は LAGO のデザートということで、皆様には腹八分目の昼食をお願いしつつ、色々なお店やメニューの中からお好きな物を選んで召し上がっていただきました。

草津イオンを出て 10 分も走れば LAGO に到着です。シックで都会的にデザインされた店舗の棚やショーケースには、和菓子、バームクーヘン、カステラなど老舗『たねや』の人気商品がズラリと陳列され、店内のイートインスペースでは、『焼き立てカステラ』、『あんパフ』、『たねやソフトクリーム』などのお店限定のスイーツをテイクアウトして味わうことができます。大きな開口部からは雄大な琵琶湖の風景が広がり、テラスに出れば湖からの心地よい風を感じながらベンチで佇むこともできます。

参加された皆様は、たねやさん自慢のあんこがあしらわれた絶品スイーツに大満足のご様子で、秋が深まる琵琶湖の景色に目をやりながら、穏やかでゆったりとしたひと時を満喫されていました。



12月初旬には、梅小路公園へ紅葉見物に出かけました。徒歩で片道 20 分ほどの無理のない距離をゆっくりと歩き、秋から冬への季節の移り変わりを全身で感じてきました。

梅小路公園内の林道には、赤やオレンジに色づいたモミジやカエデの木々が数多く立ち並んでいて、まるで紅葉のトンネルの中を散歩しているみたいな色とりどりの風景が広がっていました。足を少し止めて周りを見渡すと、秋の終盤ならではの賑やかな景色に気分も高まり、参加者の皆さんも自然と笑顔がこぼれます。

途中にあるベンチに座って少し休憩をしていると、紅葉の木々のすき間からはJRの電車が走る様子も見えます。地面に落ちている乾いた葉っぱを手でかき集めて、両手ですくい上げたり握ったりしてみると、手触りでも紅葉を感じることができました。ある利用者様が一枚ずつ落ち葉を手に取っては、それぞれの色や形の違いをじっくりと確かめている姿が印象的でした。

京都はこれから冬本番に向かっていきますが、デイサービス錢形では冬の寒さに負ることなく、利用者の皆様に心身をリフレッシュしていただけるような心躍る外出の機会をお届けして参りますのでどうぞご期待ください。

(執筆：八木 拓)

新任スタッフのご紹介



西野 元治(にしの もとはる)

訪問介護銭形 所属

介護職は未経験ですが、人を支える中で心が磨かれ、日常の尊さを感じ、感謝の気持ちが湧く仕事だと思っています。



楠 茉理奈(くす まりな)

デイサービス銭形 所属

介護福祉士としてまだまだ至らない点も多いですが、日々精進して参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

30周年に合わせて銭形グループのロゴを一新



ZENIGATA

この銭形グループの新しいロゴマークは、「力強さ」・「多様性」・「つながり」を同時に表現しています。メインカラーである瑠璃色（深い青）には伝統・誠実さ・信頼性・地域とのつながり、サブカラーの花萌葱色（鮮やかな緑）には安定・成長性・変革・柔軟性・時代変化への対応力のイメージを込めました。

「三者共栄（お客様の幸せ＝従業員の幸せ＝会社の幸せ）」の経営哲学に基づき、地域企業としての安定性や持続可能性だけでなく、時代の変化を恐れず、常に挑戦をし続け、未来に向かって柔軟性とスピード感をもって突き進んでいくという企業姿勢、そして、人材を最も重要な経営資源と捉え、“社員ファースト”をモットーに、社員一人ひとりの個性や多様性を尊重し、全員で支え合い、同じ目標や志（こころざし）をもって未来へ共に歩むという組織風土を視覚化しました。

これから色々な場面で皆様にはこの新しいロゴをご覧いただくことになると思いますが、私たちはこの意匠に込めた思いを、企業活動の中でしっかりと体現化していきたいと考えています。

ホームページがリニューアル!!

ロゴマーク改定に伴いホームページが新しくなりました。銭形グループの日々の活動紹介やお知らせ、採用情報など様々なコンテンツを掲載していますので是非ご覧ください。Instagram や note でも当グループの情報を配信しております。



寒い季節になると、デイサービス銭形の駐車場に現れる謎の美女。人呼んで、“ペンギンの焼き芋屋さん”。デイサービスのご利用者のみならず、職員たちも彼女の熟成石焼き芋の大ファンです。この冬も香ばしい焼き芋の匂いを漂わせながら、彼女の自慢の軽トラが銭形にやってきました！

『銭形 Times vol. 63 冬号』

発行元：銭形グループ 銭形 Times 編集室 上原啓輔・佐々木一喜・八木拓・山岡優・吉村翔
〒600-8357 京都市下京区黒門通五条下る柿本町 594 番地 33 株式会社銭形企画
TEL : 075-353-4899 (代) FAX : 075-354-3037 URL : <https://zenigata-group.jp/>